

取扱説明書 保証書付

電撃殺虫器

OBK-12S(B)

この度は、当商品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をお読みにになり、正しくお使いください。また、保証書として大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1
各部の名称	2
ご使用・設置方法	2
虫受皿、電撃格子の掃除	3
誘虫灯交換方法	4
グロー球の交換方法	5
故障かな?と思ったら	6
製品仕様	6
保証書	

安全上のご注意 必ずお守りください

■人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。
(下記は図記号の一部です)

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。		してはいいけない内容です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。		実行しなければならない内容です。

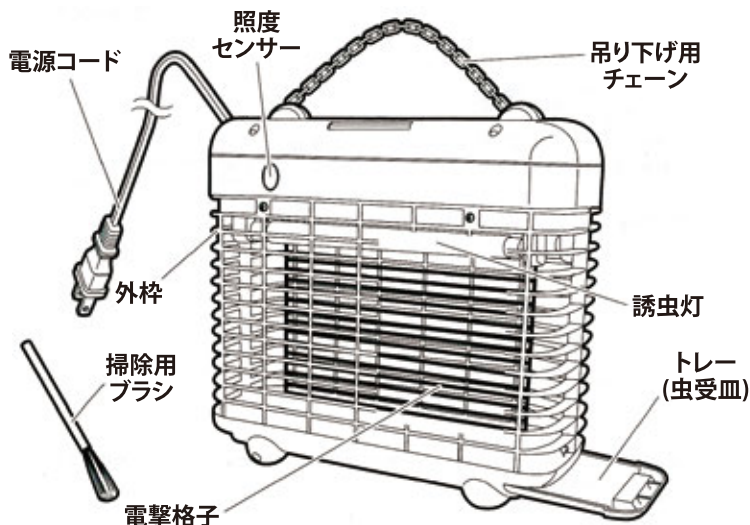
警告

 禁止	●必ず乳幼児の手の届かない場所で使用してください。 本体外枠は虫類が通過できるように必要な隙間を取っているため、乳幼児の指が通り、電撃格子に触れると、感電やけがを負う、重大事故の原因となります。 ●本品や周囲で可燃性ガスを含む殺虫剤やスプレーなどは使用しないでください。 電気火花で可燃性ガスに引火して、爆発、火災、やけどなど重大事故の原因となります。 ●外枠が破損した場合は直ちに使用を中止してください。 感電するおそれがあります。 ●本体の内部に異物を入れないでください。 感電や故障の原因となります。 ●電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。 故障や火災の原因となります。 (傷付けたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしないでください。) ●コンセントの定格を超える使い方をしないでください。 たこ足配線で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。 ●不安定な場所や、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。 落下して、火災・けがのおそれがあります。	 ぬれ手禁止	●濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電の原因になります。
		 電源プラグを抜く	●電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。 電源プラグにほこりがたまる、湿気などで火災の原因になります。 ●電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだ電源プラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。 ●電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持ってください。 電源コードを引っ張るとコードが破損し、火災・感電のおそれがあります。 ●異常を感じた場合はすぐに電源プラグを抜いてください。 本体が破損した・煙が出ている・異臭がする・異常に熱いなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●清掃・点検をせずに長期間使用した場合、まれに発煙、発火、感電のおそれがあります。

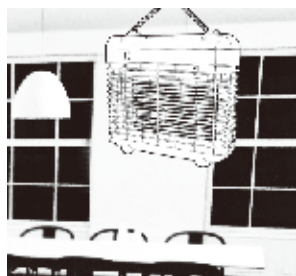
注意

 水濡れ禁止	●湿気が多い場所や屋外で使用しないでください。 本品は防水仕様ではありません。水のかかる場所や高温、多湿の場所では使用しないでください。故障の原因となります。		●本品を吊り下げて使用する時に、必ず本体の重量(約2 kg)に耐える強度の場所に設置してください。 本体が落下し、破損、故障、けがの原因となります。
 禁止	●電撃殺虫用途以外には使用しないでください。 感電や故障の原因となります。 ●本品に衝撃を与えないでください。 破損や故障の原因となります。 ●電源は交流100V以外では使用しないでください。 故障、発火の原因となります。 ●誘虫灯を長時間直視しないでください。 目に悪影響をおよぼすおそれがあります。 ●温度の高くなるものを器具の近くに置かないでください。 火災の原因になることがあります。 ●湿気やほこり、油煙の多い場所では使用しないでください。 火災・感電の原因になることがあります。		●誘虫灯交換やグロー球交換の場合を除き、本体を分解しないでください。 故障や破損の原因となります。 ●使用中に異常が認められた場合は、直ちに使用を中止してください。弊社修理ご相談センターまでご連絡ください。 ●ご自身で誘虫灯やグロー球の交換が困難な場合は、弊社修理ご相談センターまでご連絡ください。
 必ず守る	●お手入れの際は、電源プラグを抜いてください。 通電状態で行うと感電の原因になることがあります。 ●使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ●清掃点検の時は必ず電源を切り、絶縁ドライバーで電撃格子間をタッチし、帯電を除去してください。 感電のおそれがあります。	 必ず守る	

各部の名称



ご使用・設置方法 (屋内専用)



■地面から約1.8mの高さから付属のチェーンで吊り下げて使用してください。本体重量に耐える強度の場所に、落下しないように確実に設置してください。

※本体重量 約2kg



※この電撃殺虫器は屋内用です。雨のかからない場所でご使用ください。感電、漏電等の原因ともなります。

1. 安定している場所に設置した後、電源プラグをコンセントに差込んでください。
2. 周囲の照度が約20ルクス以下になると照度センサーが反応して自動的に電源が入ります。
3. 誘虫灯の光におびき寄せられた虫を高電圧で電撃殺虫します(薬剤は一切使用しません)。
4. 周囲の照度が約20ルクス以上になると照度センサーが反応して自動的に電源が切れます。



※本品は約20ルクス以上の明るい場所では作動しません。



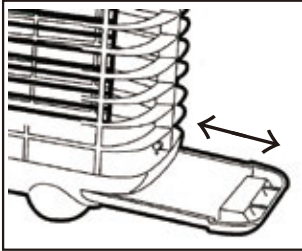
誘虫灯に誘引されない虫もあります。



必ず乳幼児の手の届かない場所に使用及び設置してください。
本体外枠は虫類が通過できるように必要な隙間を取っているため、乳幼児の指が通り、電撃格子に触れると、感電やけがを負う、重大事故の原因となります。

虫受皿の掃除

■虫の死骸は、本体底面の虫受皿に集められるので、こまめに掃除してください。



- 1.本体底面の虫受皿を手前にスライドして引き出します。
- 2.掃除は乾拭き、あるいは中性洗剤を含ませた布で拭くなどして掃除を行ってください。
- 3.掃除終了後は虫受皿を本体に戻してください。

電撃格子に残った虫の死骸掃除

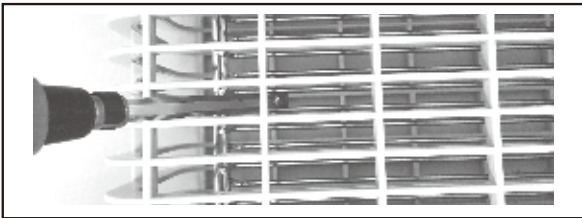
※電撃格子に残った虫の死骸を掃除する前に、**かならず電源プラグをコンセントから抜き、電源を切ってください。**



**電源を切らずに
掃除をすると
大変危険です！**

★電撃格子の帯電除去方法

- 1.まず**電撃格子の帯電を除去**します。**絶縁ドライバー**を使用し、電撃格子任意の2線を同時に触れて、ショートさせます。
※電撃格子をショートさせないと帯電除去効果がありません。
- 2.パチパチッと電気火花を出させ、電撃格子の帯電を除去してください。
※電源が切れた状態で長時間使用していない場合は、電気火花が生じない場合があります。



- 3.**付属のブラシ**で電撃格子に残った死骸を取り除いてください。

※虫の付着は本品の性能低下につながる場合があります。

※**付属ブラシ以外の清掃道具類は使用しないでください。**電撃格子の変形や、清掃道具の素材等によっては感電する恐れがあります。



電源プラグを抜いた後も電撃格子間には高電圧が帯電しています。お手入れする前に、必ず「電撃格子の帯電除去方法」を参考にして、帯電除去を実施してください。(感電のおそれがあります。) 電撃格子の帯電除去時には必ず持ち手(グリップ)と先端(金属部)が絶縁された絶縁ドライバーを使用してください。(持ち手が一体になった金属製ドライバーを使用すると感電する危険があります。)

誘虫灯交換方法

※誘虫灯交換前に、**かならず電源プラグをコンセントから抜き、電源を切ってください。**



**電源を切らずに
誘虫灯交換を
行くと
大変危険です！**

1.まず3ページの手順に沿って

十分注意しながら

「電撃格子の帯電除去」を

行ってください。

2.本体側面にある**4箇所のネジ**を

外し、外枠から上側機器部分を

持ち上げて取り外します。

3.誘虫灯を**約90度回転**させソケット

から外して、新しい誘虫灯と

交換してください。**前後に2本の**

誘虫灯がありますので、ご注意

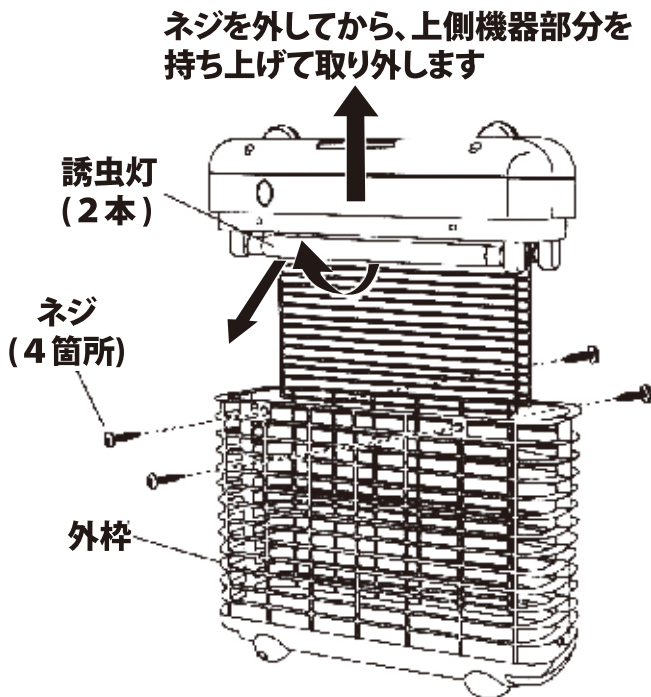
ください。

4.誘虫灯の交換が終わりましたら

上側機器部分を外枠に上から

差し込み、4箇所のネジで固定

してください。



電源プラグを抜いた後も電撃格子間には高電圧が帯電しています。お手入れする前に、必ず「電撃格子の帯電除去方法」を参考にして、帯電除去を実施してください。(感電のおそれがあります。)

電撃格子の帯電除去時には必ず持ち手(グリップ)と先端(金属部)が絶縁された絶縁ドライバーを使用してください。(持ち手が一体になった金属製ドライバーを使用すると感電する危険があります。)



誘虫灯交換時に電撃格子を变形させないように十分注意してください。变形した場合は格子間の間隔が均一になるよう修正してください。(異常放電や捕虫効果の低下や故障の原因となります。)
誘虫灯はガラス製品です。取扱時に破損しないよう十分注意してください。(破損するのとけがの原因となります。)

グロー球の交換方法

1. 本体上部にある**4箇所のネジを外して**

天板を取り外します。

2. グロー球をソケットから**少し左回転**

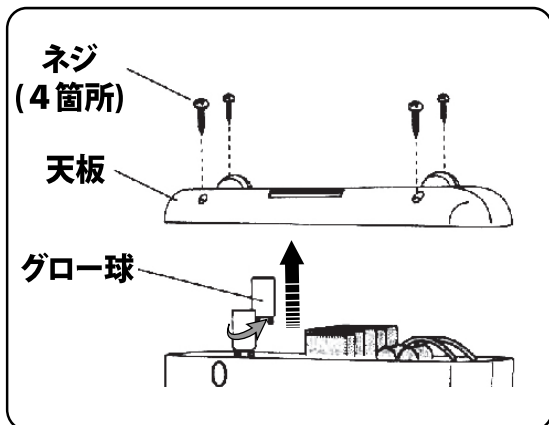
させて取り外します。

3. 交換する新しいグロー球を差し込み、

右方向に止まるまで回してグロー球を固定します。

4. 外した天板を元に戻し、上部の4箇所の

ネジで固定してください。



お客様ご自身での交換が困難な場合は、弊社修理ご相談センターまでご連絡ください。

■誘虫灯の寿命

本体付属の誘虫灯定格寿命は約3000時間ですが、誘虫紫外線の発生量は点灯時間の経過により、徐々に低下します(3000時間で約60%に低下します。誘虫効果を保つために、シーズンごとの交換をお奨めします)。使用時に誘虫灯の両端が黒くなった場合は、誘虫灯が寿命末期と考えられますので、お早めに交換してください。

※交換用誘虫灯はFL6BL(当社品番16-0245)をご使用ください。



電源プラグを抜いた後も電撃格子間には高電圧が帯電しています。グロー球を交換する前には、必ず「電撃格子の帯電除去方法」を参考にして、帯電除去を実施してください。(感電のおそれがあります。) 電撃格子の帯電除去時には必ず持ち手(グリップ)と先端(金属部)が絶縁された絶縁ドライバーを使用してください。(持ち手が一体になった金属製ドライバーを使用すると感電する危険があります。)

故障かな?と思ったら

■修理を依頼される前に下記の項目をご確認下さい。

症 状	ご確認内容	処置方法
誘虫灯が点灯しない。	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか?	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	●周囲は誘虫灯が点灯可能な照度(約20ルクス以下)ですか?	●本品は約20ルクス以下の照度・周囲が暗くなった状態で自動点灯します。
	●誘虫灯がソケットに確実に取付けてありますか?	●誘虫灯をソケットに確実に取付けてください。
	●誘虫灯の寿命ではありませんか? 誘虫灯の両端が黒くなっていませんか?	●誘虫灯管を交換してください。 ※シーズン前に誘虫灯管の交換をお薦めします。
誘虫灯は点灯しているのに殺虫しない。	●周囲の照明が明るすぎるのではありませんか?	●本器より明るい照明器具が周囲にあると虫が集まりにくくなるので、他の照明を暗くしてください。
	●虫の死骸が溜まっていませんか?	●電撃格子と受皿の掃除をしてください。
	●一匹も殺虫しない。 「電撃格子の帯電除去方法」にて電気火花が出るか確認をしても電気火花が出ない場合	●高圧が発生していないことが考えられます。ご購入店または弊社修理ご相談センターまでご連絡ください。
 警告	清掃や点検の際は、感電防止のため電源プラグを抜いてください。 お手入れの前には、必ず絶縁ドライバーで電撃格子の帯電を除去してください。	

上記の処置を行っても復帰しない場合は、ご購入店または弊社修理ご相談センターまでご連絡ください。

製品仕様

型 番	O B K - 1 2 S (B)
電 源	A C 1 0 0 V 50/60 H z
格 子 電 圧	3000 V
消 費 電 力	約20W
使 用 グ ロ ー 球	F G - 7 P [交換用: 当社品番: 04-1462]
使 用 誘 虫 灯	6W (F L 6 B L) [交換用: 当社品番: 16-0245]
本 体 寸 法	幅280×高さ260×奥行105mm
コ ー ド 長	約1.6m
質 量	約2kg
付 属 品	吊り下げ用チェーン・掃除ブラシ・保証書付取扱説明書

※屋内専用